

令和2年度の「こどもちゃれんじ教室」が開催されました！

10月24日（土曜日）、三重県伊賀市にある焼尾国有林の遊々の森「生き生き学びの森」で「こどもちゃれんじ教室」が開催されました。この教室は、伊賀市教育委員会阿山公民館が年間を通じて開催している公民館教室の一つで、三重森林管理署は毎年この時期に講師として参加しています。

当日は、少し肌寒い風が吹いてはいたものの、爽やかな晴天に恵まれ、親子15名が「生き生き学びの森」での森林散策と公民館での工作を行いました。

森林散策では、初めに樹木の説明が書かれた看板の前で周辺に自生している木の種類を知ってもらった後、森林内を歩いて実物の木を見てもらいました。参加者は、ネズミサシやソヨゴなどの実物を見ながら、その樹木の特徴や名前の由来などの説明を興味深そうに聞いていました。



この木知っているかな？



看板で見たネズミサシはこの木です

また、散策中には、倒木をのこぎりで切る体験をしたり、どんぐりやマツボックリを拾ったり、木の太さあてクイズをしたりと森林に親んでももらいました。さらに、マツクイムシの被害や増えすぎたシカにより樹皮をかじられた木のことにも触れ、森林被害の現状についても学んでもらうことができました。



上手に切れるかな



この木は何センチでしょう？

その後公民館に移動し、マツボックリでクリスマスツリー作りの工作を行いました。今年には新型コロナウイルス感染症対策のため、あらかじめ当署で用意した工作材料を一人一人に配布するという、材料が限定された中での工作でしたが、子どもたちは持ち前の発想力で色を塗ったり、木の実同士を組み合わせたりして、思い思いの自分だけのクリスマスツリーを作っていました。



こっちはこの色を塗ろう



この実をここにくっつけたい！



世界に一つだけの
クリスマスツリー！

